村上地域まちづくり協議会　令和７年度通常総会　議事録

1　開催日時　　令和７年４月 20 日（日）午後３時 00 分から午後４時 25 分

2　開催場所　　村上市教育情報センター　視聴覚ホール

3　出席者

・代議員　　：35 人（委任状提出者 21 人）、合計 56 人　※定数 61 人
・来賓　　：５人（地域内選出市議会議員）
・役員、部会員：30 人
・景観・環境美化活動表彰受賞者：６人
・一般傍聴者　：８人
・職員　　：２人（事務局：佐藤・本間）

4　開催目的　　協議会の通常総会開催のため

5　会議次第

次　第
１．開会
２．会長あいさつ
３．来賓紹介
４．景観・環境美化活動表彰
５．議長及び議事録署名人の選出
６．資格審査報告
７．議事
第１号議案　令和６年度事業報告及び収支決算について
第２号議案　令和７年度事業計画及び収支予算（案）について
８．議長退任
９．閉会

6　会議経過　　別紙のとおり

会議経過

1．開会

定刻に至り、伊部厚子副会長が開会を宣し、議長が決定するまでの間、司会進行を務める旨を述べ開会した。

2．会長あいさつ

木村三男会長が、次のとおりあいさつを行った。

「皆さんこんにちは。今ほどご紹介いただいた、村上地域まちづくり協議会　会長の木村三男といいます。どうか、よろしくお願いいたします。今日は天気もこのように悪くなってきたわけですが、代議員の皆様はじめ、役員の皆様、部会員の皆様、またご多用中にもかかわらずご臨席いただきました市議会議員の皆様、大変ありがとうございます。

私どもまちづくり協議会も早いもので、今年で14年目に入りました。市町村合併が平成20年4月ですので、合併から17年になります。平成24年4月にまちづくり協議会が村上市全域17組織設立されました。元々はこのまちづくり協議会というのは、いわゆる市の政策といいますか、市町村合併によって誕生した広大な地域のもと、従来の画一的な行政運営ではなく、地域の個性を尊重した特色ある地域づくりが必要となったことからこの政策が進められてきたものです。さらに、少子高齢化、人口減少に加え、多様化する市民ニーズに対応するため、市民一人ひとりが持つ能力や地域が持っている活力をまちづくりに活かすために立ち上がった組織であります。私どもも今13年を経過し14年目に入りました。常に葛藤している中で責任を感じているのは、私ども村上地域まちづくり協議会の年間予算規模は1,100万円を超えるということです。13年経ったということは、これまでの市からの交付金の総額は14億円を超えるものです。これだけ色々財政事情が厳しい中で、14億円を超える予算をこの間交付いただいたということになります。その意味での責任の重さ、果たすべき役割の重要性は、常日頃重く、また責任を感じているところであります。

市民協働のまちづくりとよく言われます。これもまた日頃、私も見つめ直し、色んな意味で常日頃考えておりますが、では市民協働のまちづくりというと、何だろうと...市のまちづくり指針には、市民と行政が地域課題の公共的課題の解決のため、また、まちづくりを進めていくために、それぞれの特性を活かしながら補完し合い、協力し合い対等な立場で取り組んでいくこと。こういう風にうたわれています。色々な活動をする中で、常に私も自分自身に問いかけますし、また地域の皆様、そして行政の方々とこういった趣旨で本当に取り組めているんだろうか、というところを自問自答し、検証しながら進めているところでございます。なかなか至らない点も多々あるかと思いますが、皆様の格段なるご理解ご協力のもとに今まで進められてきたと思っています。

もう一点皆様にお話ししたいのは、去年は村上市では大災害といわれるのはなかったように思いますが、その前は荒川を中心に大水害に見舞われました。災害ボランティアということで、急遽私どもの協議会でも及ばずながら微力を尽くしたわけですが、その中で感じたのは、本当の意味での地域の支え合い、助け合いの重要性というものを強く感じました。なかなか一団体、一組織だけでは簡単にはいかない部分があります。このまちづくり協議会は、

旧村上市の中に村上、岩船、瀬波、山辺里、上海府の５つの協議会がございます。過去２回、５つの協議会の代表等が集まり、懇談会を開催しました。その中で各まち協の会長さんもお話されているのは、やはり自分の地域の課題解決ももちろん大切ですが、横の連携といいますか、もっと大きなレベルで連携し合う必要性、重要性を懇談会の中で確認しているところであります。なかなか色々な事情の中で、懇談会の後、実際の取組が進んでない状況がありますけども、再度この支え合い、助け合い、連携、協力という意味でもっと横に広げていくような取組を今後、考えていきたいと思っています。

今日は令和７年度の通常総会でございます。今後のまちづくりの役割について、慎重なご審議をお願いして挨拶といたします。」

３．来賓紹介

司会の伊部副会長が来賓を紹介した。

村上市議会議員　尾形　修平　様
村上市議会議員　河村　幸雄　様
村上市議会議員　髙田　晃　　様
村上市議会議員　上村　正明　様

４．景観・環境美化活動表彰

環境整備部会の奥村直子部会長の進行により、令和６年度の景観・環境美化活動の表彰を行った。団体の部３団体、個人の部１名に協議会会長から感謝状と記念品を贈呈した。

【受賞者】

（団体の部）

・鶴寿会　様（若葉町）
・東北電力ネットワーク株式会社村上電力センター　様
・新潟県立村上桜ヶ丘高等学校　様

（個人の部）

・田村　清一　様（若葉町）

５．議長及び議事録署名人の選出

司会の伊部副会長から議長及び議事録署名人の選出について意見を求めたところ、執行部に一任する旨の意見があったため、司会者は議長には三之町の吉村譲代議員を選出することを提案した。この提案に対し代議員の拍手により承認を求めたところ、拍手多数で承認された。

続いて、議事録署名人には飯野西の木村信策代議員と羽黒口の髙久義之代議員を提案し、拍手で承認された。

吉村議長は登壇の後、円滑な進行をお願いする旨のあいさつを行った。

６．資格審査報告

議長は、通常総会の代議員の出席状況を報告した。

代議員総数 61 名のうち、４月 20 日午後３時現在の出席代議員数は 35 名、委任状の提出者は

21 名であり、委任状を含めた出席代議員の合計は 56 名で、代議員の半数以上の出席があることを確認し、規約第 13 条第５項の規定により、本総会は成立していることを報告した。

７．議事

(1)　第１号議案　令和６年度事業報告及び収支決算について

議長は、第１号議案「令和６年度事業報告及び収支決算について」を議題とし、執行部に説明を求めた。執行部は、事業報告について事務局から概要を説明し、各専門部会の事業については部会長が資料説明を行った。また、収支決算については事務局が説明した。

議長は、収支決算の説明の後、監査委員へ監査報告を求め、水谷文江監事が監査の報告を行った。

議長は、第１号議案について質疑を促した。第１号議案の質疑の内容は以下のとおり。

（質疑：飯野桜ケ丘　西村　治代議員）

生活安心部会の事業「住民同士がささえあう仕組みづくり」について伺う。

昨年度の議案書の中で令和６年度の事業計画として、町内で実施したアンケートの結果を踏まえた対応の検討を重点事項としていたが、今ほどの報告の中で検討の結果どのような事業を実施したかの記載はないように読み取れる。実際にどのような取組が行われたか、お聞きする。

（答弁：事務局　佐藤）

支え合いの地域づくりに関するアンケートについては、介護高齢課と連携・協力し令和５年度中に実施した。各区、区長さんに協力いただいたことに、改めて御礼を申し上げる。

アンケートの結果、各町内で現状として捉えられている課題や困りごと、住民同士の支え合いの必要性、またこれからの推進方策というものが各区から意見として出されていた。アンケートの結果や出されたご意見を踏まえた取組として、事業報告の中で触れた塩町区での座談会開催につなげることができた。

塩町区での座談会開催にあたっては、区に主体的に動いていただいた中で、生活支援協議体「むらかみ互近所ささえ～る隊」の事務局、市の介護高齢課、当協議会で連携し支援体制を取り、支え合いの地域づくりの第一歩といえる座談会が開催されたもの。

アンケート結果に基づき、塩町区のほかにも座談会の開催を呼び掛けたものの、令和６年度は塩町一町内にとどまった。今後、令和７年度以降、更に座談会を開催できる町内を増やし、協議会としては伴走型支援体制を整えながら、一層支え合いの地域づくりを広めていきたいと考えている。

議長は、他に質疑を求めたが質疑なく、質疑を打ち切り挙手による採決を求めたところ、賛成多数により第１号議案は承認された。

(2)　第２号議案　令和７年度事業計画及び収支予算（案）について

議長は、第２号議案「令和７年度事業計画及び収支予算（案）について」を議題とし、執行部に説明を求めた。執行部は、事業計画（案）について事務局から概要を説明し、各専門部会の事業計画（案）については部会長が説明を行った。また、収支予算（案）については事務局が説明した。

議長が質疑を求めたが質疑なく、質疑を打ち切り挙手による採決を求めたところ、賛成多数により第２号議案は承認された。

８．議長退任

議長は、すべての議案審議が終了した旨を告げ、議事進行への協力の御礼を述べ、議長を退任した。

議長退任後、事務局の紹介を小川市民課長が行い、事務局の佐藤と本間が挨拶を行った。

９．閉会

丹羽副会長が、本日の総会出席への御礼と今後の協議会事業への協力をお願いし、閉会を告げた。

（午後４時25分閉会）

以上、この議事録の内容に相違ないことを証明する。

令和７年５月　8　日

議　　長　　吉　村　　譲

議事録署名人　　本　村　信　策

議事録署名人　　高　久　義　之